

C
B
T
用
授
業
科
目
別
到
達
目
標
対
照
表

歯学教育モデル・コア・カリキュラム

—教育内容ガイドライン—

平成28年度改訂版

CBT用到達目標に関連する授業科目名参照用資料(令和4年度)

略称	科目名	1年		2年		3年		4年	
		前	後	前	後	前	後	前	後
プロフ	プロフェッション	○							
臨振基	臨床から振り返る基礎学	○							
初年セ	初年次セミナー	○							
物理	熱と物質の物理	○	○						
化学	生体物質の化学	○	○						
生物	細胞の生物	○	○						
数学	自然現象の数学	○	○						
環基	環境学の基礎		○						
歯入門	歯学入門実習	○	○						
ファン	ファンダメンタルスキル実習Ⅰ・Ⅱ		○						
情報	情報科学の実習	○							
健康Ⅰ	健康科学Ⅰ・Ⅱ	○			○				
材料	材料科学	○							
原子核	原子核と放射線				○				
物構	物質の構造と反応				○				
遺伝子	生命の連続性と遺伝子				○				
解剖	解剖学				○	○			
口解剖	口腔解剖学				○				
発生	発生学				○				
組織	組織学				○				
口組織	口腔組織学					○			
生理	生理学				○	○			
生化	生化学				○				
口生	口腔生化学					○			
微生	感染微生物学				○	○			
生防御	生体防御学						○		
病理	病理学					○			
口病	口腔病理学						○		
薬療	薬物療法学				○				
歯薬療	歯科薬物療法学					○			
薬剤	歯科薬剤学								○
理工	歯科理工学				○	○	○		
口保健	基礎口腔保健学					○			
地保健	地域口腔保健学						○		

CBT用到達目標に関連する授業科目名参照用資料(令和4年度)

略称	科目名	1年		2年		3年		4年	
		前	後	前	後	前	後	前	後
解実	解剖学実習				○				
口実	口腔解剖学実習			○					
組実	組織・口腔解剖学実習					○			
生習	生理学実習					○			
薬実	歯科薬物療法学実習					○			
微実	感染微生物学・生体防御学実習					○			
分実	分子生命科学実習					○			
保実	口腔保健学実習					○			
理実	歯科理工学実習				○				
病習	病理診断学実習						○		
復実	保存修復学実習							○	
内実	歯内療法学実習								○
顎実	顎口腔機能診断学実習					○			
部実	部分床義歯補綴学実習								○
全実	全部床義歯補綴学実習							○	
架実	歯冠補綴架工義歯学実習							○	○
イ実	口腔インプラント学実習								○
管実	口腔外科学・全身管理学実習								○
小実	小児歯科学実習							○	
矯実	歯科矯正学実習					○			
周実	歯周疾患治療学実習							○	

注)

1. 記入欄が小さいため、科目名については上記の略称で表しており、一つの項目に3科目以上入っている場合にはさらに表記を略したことがある。
2. 科目名略称の前の○数字は学年を示している。
3. 上記の科目名略称は正式なものではなく、このCBT用資料に限定したものである。

A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力

A-1 プロフェッショナリズム

人の命と生活に深く関わり健康を守るという歯科医師の職責を十分に自覚し、患者中心の歯科医療を実践しながら、歯科医師としての道(みち)を究めていく。

A-1-1) 医の倫理と生命倫理

ねらい:

医療、歯科医療及び医学・歯学研究における倫理を遵守するために、その重要性を理解し、医療倫理・研究倫理に関する知識と態度を身に付ける。

学修目標:

- | | |
|------------|---|
| ②社歯入④倫理④内科 | ①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 |
| ②社歯入④倫理④内科 | ②医の倫理に関する規範・国際規範(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等)を概説できる。 |
| ②社歯入④内科 | ③臨床(生と死に関わる問題を含む)に関する倫理的問題を説明できる。 |
| ②社歯入④内科④倫理 | ④医学研究に関する倫理的問題を説明できる。 |
| ②社歯入④内科 | ⑤情報倫理に関わる問題を説明できる。 |
| ②社歯入④内科 | ⑥研究を、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行うよう配慮できる。 |

A-1-2) 患者中心の視点

ねらい:

患者の安全を最優先し、常に患者中心の立場に立つとともに、患者の主体的治療参加を促すために、患者の権利を熟知し、その現状と問題点を理解する。

学修目標:

- | | |
|------------------------|------------------------------|
| ①早臨床②社歯入④内科 | ①患者の権利を説明できる。 |
| ②社歯入④内科 | ②患者の自己決定権を説明できる。 |
| ②社歯入④内科 | ③患者が自己決定できない場合の対応を説明できる。 |
| ①早臨床②社歯入④口外診
④内科④倫理 | ④インフォームド・コンセントの意義と重要性を説明できる。 |

A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権

ねらい:

豊かな人間性と生命の尊厳についての深い認識を有し、人の命と健康を守る歯科医師としての義務と責任を自覚する。

学修目標:

- | | |
|---------------------|---|
| ①プロフ①早臨床②社歯入
④倫理 | ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 |
| ①早臨床②社歯入③小児歯
④倫理 | ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 |
| ②社歯入④倫理 | ③医療サービスの特殊性(情報の非対称性・医療の不確実性)や治療の限界を説明できる。 |
| ②社歯入④倫理④医法律 | ④歯科医師に課せられた社会的責任と法的責任(刑事責任、民事責任、歯科医師法に基づく行政処分)を説明できる。 |
| ②社歯入④倫理 | ⑤患者に最も適した歯科医療を勧めるとともに、代替する他の方法についても説明できる。 |

A-2 医学知識と問題対応能力

発展し続ける歯科医学の中で必要な知識を身に付け、根拠に基づいた医療(evidence-based medicine <EBM>)を基盤に、経験も踏まえながら、幅広い症候・病態・疾患に対応する。

A-2-1) 課題探求・解決能力

ねらい:

自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決するための能力を身に付ける。

学修目標:

- | | |
|---------|---|
| ①早臨床④内科 | ①必要な課題を自ら発見できる。 |
| ①早臨床④内科 | ②自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。 |
| ①早臨床④内科 | ③課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。 |
| ①早臨床④内科 | ④課題の解決に当たり、他の学習者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。 |
| ①早臨床 | ⑤適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。 |

A-2-2) 学修の在り方

ねらい:

科学や社会の中で歯科医学・医療だけでなく様々な情報を客観的・批判的に取捨選択して統合・整理し、表現する基本的能力(知識、技能、態度・習慣)・リベラルアーツを身に付ける。

学修目標:

- | | |
|--------|---|
| ④内科 | ①講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 |
| ④内科 | ②得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 |
| ③薬実④内科 | ③実験・実習の内容を決められた様式にしたがって文書と口頭で発表できる。 |
| ④内科 | ④後輩等へ適切に指導できる。 |
| ④内科 | ⑤各自の興味に応じて選択制カリキュラム(医学研究等)に参加する。 |

A-3 診療技能と患者ケア

臨床技能を磨くとともにそれらを用い、また患者の苦痛や不安感に配慮しながら、診療を実践する。

ねらい:

統合された知識、技能、態度に基づき、患者の立場を尊重しながら、口腔・顎顔面領域を総合的に診療できる実践的能力を身に付ける。

学修目標:

- | | |
|--------------|--|
| ④コミ | ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 |
| ④口外診④管実 | ②全身状態の評価に基づいた口腔・顎顔面領域の診察ができる。 |
| ④口外診 | ③口腔・顎顔面領域の疾患を正しく診断し、患者の立場を尊重した治療方針・治療計画を立案できる。 |
| ④口外診④コミ | ④患者中心の医療を目指したインフォームド・コンセントを得ることができる。 |
| ④復実 | ⑤基本的な臨床手技を適切な態度で実践できる。 |
| ④復実④部実④全実④架実 | ⑥治療経過及び結果を自ら振り返り適切に評価できる。 |

A-4 コミュニケーション能力

- | | |
|-----|---|
| ④コミ | 患者の心理・社会的背景を踏まえながら、患者及びその家族と良好な信頼関係を築く。 |
|-----|---|

A-4-1) コミュニケーション

ねらい:

信頼関係を確立するために、コミュニケーションの重要性を理解し、その能力を身に付ける。

学修目標:

- | | |
|--------------------|---|
| ①早臨床③小児歯④内科
④コミ | ①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 |
|--------------------|---|

①早臨床④内科④コミ

②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。

④内科④コミ

③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。

A-4-2) 患者と歯科医師の関係

ねらい:

患者やその家族と歯科医師の良好な関係を築くために、患者の個別的背景を理解し、問題点を把握する能力を身に付ける。

学修目標:

②社歯入④コミ④倫理

①患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。

②社歯入④コミ④倫理

②患者に分かりやすい言葉で説明できる。

②社歯入④コミ④倫理

③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。

②社歯入④コミ④倫理

④医療行為は患者と歯科医師との高度な信頼関係を基礎とする契約に基づいていることを説明できる。

②社歯入④コミ④倫理

⑤患者の要望(診察・転医・紹介)への対処の仕方を説明できる。

①早臨床④コミ④倫理

⑥患者のプライバシーに配慮できる。

①早臨床②社歯入④コミ④倫理

⑦患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱ができる。

A-5 チーム医療の実践

保健・医療・福祉・介護及び患者に関わる全ての人々の役割を理解し、連携する。

A-5-1) 患者中心のチーム医療

ねらい:

患者中心のチーム医療の重要性を理解し、他の医療従事者との連携を身に付ける。

学修目標:

①早臨床④コミ④障害者

①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。

①早臨床①包括ケ④薬剤④高齢④コミ④障害者④医療管

②医療チームや各構成員(歯科医師、医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職)の役割分担と連携・責任体制を説明できる。

④コミ④障害者

③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。

④コミ④医療管

④他の医療機関への紹介を行うための手続を説明できる。

④コミ④医療管

⑤患者情報の守秘と患者等への情報提供の重要性を説明できる。

④口外診④コミ④医療管

⑥セカンドオピニオンを説明できる。

②社歯入④コミ④倫理④口外診

⑦人生の最終段階における歯科の関わりと本人の意思決定・表示を説明できる。

A-6 医療の質と安全管理

患者及び医療者にとって、良質で安全な医療を提供する。

A-6-1) 安全性の確保

ねらい:

信頼される安全・安心な歯科医療を提供するために、医療上の事故等(インシデントや医療関連感染を含む)は日常的に起こる可能性があることを認識し、過去の事例に学び、事故を防止し、患者の安全確保を最優先するために必要な知識を身に付ける。

学修目標:

④薬剤④口外診④内科④医療管

①医療上の事故等の発生要因(ヒューマンエラー、システムエラー等)を説明できる。

④薬剤④内科④医療管

②医療上の事故等に対する防止策を説明できる。

- ④内科④コミ④医療管
- ④内科④医療管
- ④内科④医療管
- ②微生物④口外診④内科
④医療管
- ④口外診④内科④医療管

- ③医療現場における報告・連絡・相談及び診療録記載の重要性を説明できる。
- ④医療の安全性に関する情報の共有、分析の重要性を説明できる。
- ⑤医療機関に求められる医療安全管理体制を概説できる。
- ⑥医療関連感染の原因と対策を概説できる。
- ⑦歯科医療における事故の具体例を列挙できる。

A-6-2) 医療上の事故等への対処と予防

ねらい:

医療上の事故等(インシデントや医療関連感染を含む)が発生した場合の対処方法と予防策を身に付ける。

学修目標:

- ④口外診④内科④医療管
④医法律
- ④医法律④内科④医療管
- ④薬剤④内科④医療管
- ④内科④医療管
- ④内科④医療管
- ④内科④医療管

- ①医療事故と医療過誤の違いを説明できる。
- ②医療法に基づく医療事故調査制度を説明できる。
- ③医療上の事故等が発生した際の緊急処置や記録、報告を説明できる。
- ④医療上の事故等に対する具体的な防止対策や信頼性設計を説明できる。
- ⑤医療上の事故等の事例の原因を分析し、防止対策を立案できる。
- ⑥信頼性設計をはじめとする基本的な安全対策手法を概説できる。

A-6-3) 医療従事者の健康と安全

ねらい:

医療従事者が遭遇する医療上の事故等(インシデントや医療関連感染を含む)について、基本的な予防・対処及び改善の方法を身に付ける。

学修目標:

- ②微生物③微実④内科
- ②微生物③微実④口外診
④口外術④内科
- ②微生物③微実④口外診
④口外術④内科
- ②微生物③微実④口外術④内科
- ④内科

- ①医療従事者の健康管理(予防接種を含む)の重要性を説明できる。
- ②標準予防策(Standard Precautions)を説明できる。
- ③感染経路別予防策を説明できる。
- ④針刺し事故等に遭遇した際の対処の仕方を説明できる。
- ⑤医療現場における労働環境の改善の必要性を説明できる。

A-7 社会における医療の実践

医療人として求められる社会的役割を担い、地域社会と国際社会に貢献する。

A-7-1) 地域医療への貢献

ねらい:

地域医療・地域保健の在り方と現状及び課題を理解し、地域医療に貢献するための能力を身に付ける。

学修目標:

- ④高齢④内科
- ①包括ケ④医法律④内科
- ①包括ケ④高齢④内科
- ①包括ケ④内科
- ①包括ケ④高齢④内科
- ④内科

- ①地域社会(へき地・離島を含む)における歯科医療の現状を概説できる。
- ②医療計画(医療圏、基準病床数、地域医療支援病院、病院・診療所・薬局の連携等)及び地域医療構想を説明できる。
- ③地域包括ケアシステム概念の理解し、地域における、保健(母子保健、学校保健、産業保健、成人・高齢者保健、地域保健、精神保健)・医療・福祉・介護の分野間及び多職種間(行政を含む)の連携の必要性を説明できる。
- ④かかりつけ歯科医等の役割や地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を理解し、実践に必要な能力を身に付ける。
- ⑤地域における在宅医療(訪問歯科診療を含む)、救急医療及び離島・へき地医療の体制を説明できる。
- ⑥災害医療(災害時保健医療、医療救護班、災害派遣医療チーム(Disaster Medical Assistance Team <DMAT>)、災害拠点病院、トリアージ、Post Traumatic Stress Disorder <PTSD>、ストレス等)を説明できる。

④高齢④内科

⑦地域医療に積極的に参加・貢献する。

A-7-2) 国際医療への貢献

ねらい:

国際社会における医療の現状と課題を理解し、実践するための基礎的素養を身に付ける。

学修目標:

④内科

①患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとし異なる言語に対応することができる。

④内科

②地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。

④内科

③保健、医療に関する国際的課題について理解し、説明できる。

④内科

④日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。

④内科

⑤医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。

A-8 科学的探究

医学・医療の発展のための医学研究の必要性を十分に理解し、批判的思考も身に付けながら、学術・研究活動に関与する。

A-8-1) 医学研究への志向の涵養(研究マインドの涵養)

ねらい:

生命科学や医療技術の成果について生涯を通じて学び、病因や病態を解明するなどの研究マインドを涵養する。

学修目標:

④内科

①生命科学の講義・実習で得た知識を、診療で経験した病態の解析に応用できる。

④内科

②臨床上の疑問(Clinical Question <CQ>)を定式化できる。

①情報④内科

③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。

A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢

歯科医療の質の向上のために絶えず省察し、他の歯科医師・医療者と共に研鑽しながら、生涯にわたって学び続ける。

A-9-1) 生涯学習への準備

ねらい:

歯科医学・医療・科学技術の進歩と社会の変化(経済的側面を含む)やワーク・ライフ・バランスに留意して、歯科医師としてのキャリアを継続させる生涯学習者としての能力を身に付ける。

学修目標:

①早臨床②口実③分実

①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。

①情報①早臨床③分実

②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。

③分実

③医療の改善の必要性和科学的研究の重要性を説明できる。

③分実

④科学的研究(臨床研究、疫学研究、生命科学研究等)に積極的に参加する。

B 社会と歯学

B-1 健康の概念

ねらい:

歯科医学及び歯科医療によって健康に寄与するために、健康と疾病の概念を理解する。

学修目標:

- ①健康④障害者
- ②健康④小児歯
- ①健康②健康③小児歯

- ①健康、障害と疾病の概念を説明できる。
- ②口腔と全身の健康との関連を説明できる。
- ③栄養と食育を説明できる。

B-2 健康と社会、環境

B-2-1) 歯科医師法・歯科医療関係法規

ねらい:

法令を遵守して歯科医療を実践するために、歯科医師法及び歯科医療関連法規の規定を理解する。

学修目標:

- ②社歯入③地保健
- ①健康②社歯入④医法律
- ②社歯入③地保健
- ②薬療③地保健④薬剤
- ③地保健
- ②社歯入③地保健④医療管
- ②社歯入③地保健

- ①歯科医師法を説明できる。
- ②医療法を概説できる。
- ③歯科衛生士法と歯科技工士法を説明できる。
- ④薬事衛生法規を概説できる。
- ⑤保健衛生法規を概説できる。
- ⑥医師法、薬剤師法及び保健師助産師看護師法を概説できる。
- ⑦その他の歯科医療関連職種の身分法を概説できる。

B-2-2) 保健・医療・福祉・介護の制度

ねらい:

限られた医療資源の有効活用の視点を踏まえ、適切に保健・医療・福祉・介護を提供するために、関連する社会制度、地域医療及び社会環境を理解する。

学修目標:

- ①健康①包括ケ②社歯入③地保健④医療管
- ①包括ケ②社歯入③地保健④医療管
- ①健康①包括ケ②社歯入③地保健
- ①包括ケ③地保健④高齢
- ③地保健④障害者
- ③小児歯③地保健
- ①健康④口外診④障害者
- ①包括ケ③地保健④高齢
- ①健康

- ①保健・医療施策を説明できる。
- ②医療保険制度と医療経済(国民医療費)を説明できる。
- ③社会保障制度(社会保険・社会福祉・公的扶助・公衆衛生)を説明できる。
- ④高齢者の置かれた社会環境を説明できる。
- ⑤障害者の置かれた社会環境を説明できる。
- ⑥虐待の防止に関する制度と歯科医師の責務を説明できる。
- ⑦社会環境(ノーマライゼーション、バリアフリー、生活の質(quality of life<QOL>))の考え方を説明できる。
- ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携(地域包括ケアシステム)を説明できる。
- ⑨災害時の歯科医療の必要性を説明できる。

B-2-3) 歯科による個人識別

ねらい:

大規模災害時等における身元確認等に資するために、歯科による個人識別の重要性を理解する。

学修目標:

- ④歯科法
- ④歯科法

- ①歯科による個人識別を説明できる。
- ②歯科医師による身元確認や関連する死因究明等の制度を説明できる。

B-2-4) 環境と健康

ねらい:

環境の健康への影響及び歯科医療の環境への影響に配慮するために、環境と健康との関わりを理解する。

学修目標:

①環基①健康③保実

①環境による健康への影響を説明できる。

①環基①健康③保実

②環境基準と環境汚染を説明できる。

B-3 予防と健康管理

B-3-1) 予防の概念

ねらい:

公衆衛生と歯科医療を遂行するために、予防の概念を理解する。

学修目標:

①健康②口保健

①疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を説明できる。

②口保健

②プロフェッショナルケア、セルフケア及びコミュニティケアを説明できる。

①健康③地保健

③プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。

②微生物④口外診④医療管

④感染性疾患と非感染性疾患の予防の違いを説明できる。

B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

ねらい:

歯科疾患を予防するために、その予防法と公衆歯科衛生を理解する。

学修目標:

②口保健③小児歯③保実④小児歯

①主な歯科疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。

①材料科②理工②口保健②歯薬療③小児歯③保存③保実

②う蝕予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を説明できる。

②口保健③小児歯③保実

③ブラークコントロールの意義と方法を説明できる。

①健康①包括ケ②健康③地保健

④ライフステージに応じた歯科疾患の予防を説明できる。

②口保健③小児歯③保実

⑤歯科疾患のリスク因子を説明できる。

③地保健

⑥公衆歯科衛生を概説できる。

②口保健

⑦人の行動と心理及び健康行動を概説できる。

③小児歯③保実

⑧行動変容と行動療法を概説できる。

B-4 疫学・保健医療統計

B-4-1) 歯科疾患の疫学

ねらい:

疫学と根拠に基づいた医療<EBM>を実践するために、その概念と応用法を理解する。

学修目標:

①数学①健康②医統計③地保健

①疫学と根拠に基づいた医療<EBM>の概念を説明できる。

①健康②医統計③保実

②スクリーニング検査を説明できる。

①数学②口保健③保実

③歯科疾患の疫学的指標を説明できる。

④医療管

④診療ガイドラインを説明できる。

B-4-2) 保健医療統計

ねらい:

確率には頻度と信念の度合いの二つがあり、それを用いた統計・推計学の有用性と限界を理解し、保健・医療の問題点を把握するために、保健医療統計とその応用を理解する。

学修目標:

①数学①歯入門②医統計

①確率変数とその分布、統計的推測(推定と検定)の原理と方法を説明できる。

①数学①情報①健康①包括ケ
③保実

②主な保健医療統計(歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、学校保健統計調査等)を説明できる。

①数学①健康①包括ケ

③主な健康指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率等)を説明できる。

①数学①情報①歯入門
②医統計③保実

④調査方法と統計的分析法を説明できる。

B-4-3) 保健医療情報

ねらい:

適切に保健医療情報を利用・管理するために、その方法を理解する。

学修目標:

①数学①情報④医療管

①保健医療情報(診療情報(診療録等)を含む)の取扱いと情報のセキュリティを説明できる。

④医療管

②医療情報の開示に関する法的根拠と注意点を説明できる。

C 生命科学

C-1 基礎自然科学

C-1-1) 生体を構成する物質の化学的基礎

ねらい:

生命科学及び医療科学を学ぶ上で必要な物質の化学的基礎を理解する。

学修目標:

- | | |
|------------|----------------------------------|
| ②生化②原子核 | ①原子と生体を構成する元素を説明できる。 |
| ②生化 | ②分子の成り立ち及び生体構成分子に関する化学的性質を説明できる。 |
| ①物理①化学②原子核 | ③物質間及び物質とエネルギーの相互作用を説明できる。 |

C-1-2) 生体现象の物理学的基礎

ねらい:

生命科学及び医療科学を学ぶ上で必要な物理学的基礎を理解する。

学修目標:

- | | |
|-------------|-----------------------------------|
| ①物理①数学 | ①生体现象と医療機器の原理における物体の力学的な運動を説明できる。 |
| ①物理①数学①材料 | ②振動と波動現象の特徴及び光と音の基本的性質を説明できる。 |
| ①物理①歯入門②原子核 | ③医療機器に応用される電磁現象を説明できる。 |

C-2 生命の分子的基盤

C-2-1) 生命を構成する基本物質

ねらい:

基本的な生体物質の分子構造、機能及び代謝(正常と異常)を理解する。

学修目標:

- | | |
|-----------|------------------------------|
| ②生化③微実④内科 | ①アミノ酸とタンパク質の構造、機能及び代謝を説明できる。 |
| ②生化③微実④内科 | ②糖質の構造、機能及び代謝を説明できる。 |
| ②生化④内科 | ③脂質の構造、機能及び代謝を説明できる。 |
| ②生化④内科 | ④生体のエネルギー産生と利用を説明できる。 |
| ②生化④内科 | ⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。 |

C-2-2) 遺伝子と遺伝

ねらい:

遺伝子の構造と機能及び遺伝の基本的機序を理解する。

学修目標:

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| ②口生②微生④内科 | ①核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を説明できる。 |
| ②口生②微生④内科 | ②デオキシリボ核酸(DNA)複製と修復の機序を説明できる。 |
| ②口生②微生④内科 | ③転写と翻訳の過程と調節機序を説明できる。 |
| ②口生④内科 | ④遺伝性疾患の発生機序を説明できる。 |

②口生③分実④内科

⑤遺伝子解析や遺伝子工学技術を説明できる。

C-2-3) 細胞の構造と機能

ねらい:

細胞の基本構造と機能及び増殖と分化機構を理解する。

学修目標:

②組織④内科

①真核細胞の全体像と細胞膜、核、細胞内器官及び細胞骨格の構造と機能を説明できる。

②組織②生機調②生理②唾液④内科

②細胞の分泌と吸収を説明できる。

②組織②歯薬療②口生④内科

③細胞周期と細胞分裂を説明できる。

②組織②生機調②病理②口生④内科

④細胞死の種類と基本的機序を説明できる。

C-2-4) 細胞の情報伝達機構

ねらい:

細胞間、細胞とマトリックスの接着機序及び細胞レベルでの情報伝達の仕組みを理解する。

学修目標:

②組織③生防御②口生④内科

①細胞接着の機構を説明できる。

②生機調②薬療③生防御④内科

②ホルモン、成長因子、サイトカイン等の受容体を介する細胞情報伝達機構を説明できる。

②口生④内科

③主な細胞外マトリックス分子の構造と機能、合成と分解を説明できる。

C-3 人体の構造と機能

②解剖

C-3-1) 身体の部位と方向用語

ねらい:

身体の部位と方向用語を理解する。

学修目標:

②解剖②口実

①身体の区分及び方向用語を用いた運動方向と位置関係を説明できる。

②解剖

C-3-2) 組織、器官及び個体の発生と成長

ねらい:

個体と器官・組織の発生と成長の過程を理解する。

学修目標:

④内科

①人体の正常な個体発生と器官発生を説明できる。

②口生④内科

②多能性幹細胞と基本的な発生学的技術を概説できる。

②口実③小児歯④内科

③人体の形態的な成長と機能的な発達を説明できる。

③小児歯

④小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。

②解剖

C-3-3) 組織、器官及び個体の老化

ねらい:

組織、器官及び個体の成熟期以降の加齢変化(老化)を理解する。

学修目標:

④高齢④内科	①人体の老化の特性と機序及び寿命を概説できる。
②組織②薬療②病理③口病③全部床 ④高齢④内科	②老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的・機能的な変化を概説できる。
④高齢④内科	③老化に伴う精神的・心理的变化を説明できる。
②解剖	C-3-4) 身体を構成する組織と器官 ねらい: 人体諸器官の正常な構造及び生理的機能とその機序を理解する。 学修目標:
②解剖	C-3-4)-(1) 上皮組織と皮膚・粘膜系
②組織②唾液③生防御④内科	①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。
②組織②唾液③生防御④内科	②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。
②組織②唾液③生防御④内科	③腺の構造と分布及び分泌機構を説明できる。
②解剖	C-3-4)-(2) 支持組織と骨格系
②解剖②口実④内科	①人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる。
②組織②口生③組実④内科	②支持組織の分類と構成する細胞と細胞間質を説明できる。
②組織②口生③組実④内科	③骨と軟骨の組織構造と構成する細胞を説明できる。
②組織②歯薬療②口生④内科	④骨発生(軟骨内骨化と膜内骨化)、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。
②組織②口組織②口生③組実 ④内科	⑤硬組織の成分と石灰化の機序を説明できる。
②解剖	C-3-4)-(3) 筋組織と筋系
②組織②生理③組実④内科	①筋組織の分類と分布を説明できる。
②組織②生理②歯薬療 ③生習④内科	②筋細胞の構造と筋収縮の機序を説明できる。
②解剖④内科	③全身の主要な筋の肉眼的構造、作用及び神経支配を説明できる。
②解剖	C-3-4)-(4) 血液・リンパと循環器系
②解剖②生理②歯薬療③生習④ 内科	①心臓の構造、発生、機能及び心電図波形を説明できる。
②解剖②生理②口実④内科	②血液循環(肺循環、体循環及び胎児循環)の経路と主要な動静脈の名称を説明できる。
②組織②歯薬療②生理③生習 ④内科	③血管の構造と血圧調節機能を説明できる。
②組織②生機調②口生③組実 ③分実③生防御④内科	④血液の構成要素と役割を説明できる。
②解剖②組織②口組織②生理 ③生防御④内科	⑤リンパ管とリンパ系組織・器官の構造と機能を説明できる。
②組織③生防御④内科	⑥造血器官と造血機構を説明できる。
②歯薬療②口生④内科	⑦止血、血液凝固及び線溶の機序を説明できる。
②解剖	C-3-4)-(5) 神経系
②解剖②生理②口実②解実 ④内科	①末梢神経系の種類、走行及び支配領域を説明できる。
②解剖②生理②生機調②薬療 ④内科	②体性神経系と自律神経系の構造と機能を説明できる。
②解剖②生理②生機調②薬療 ④内科	③交感神経系と副交感神経系の構造と機能を説明できる。
②生理②解実③組実④内科	④脳と脊髄の構造と機能(運動機能、感覚機能、高次神経機能及び自律機能)を説明できる。

②解実④内科

②生理②生機調②顎制御
④内科

②組織②生理②生機調
②薬療④内科

②生理②生機調④内科

②生理②生機調②薬療
④内科

②解剖②口組織②生理
④内科

②解剖②生理③生習④内科

②解剖②生理④内科

②解剖②生理②菌薬療
③生習④内科

②解剖②口組織②生理
③生防御④内科

②解剖②生理④内科

②解剖②生理②生機調
④内科

②解剖②生理③生防御
④臨診査④内科

②解剖②生理③生習
④臨診査④内科

②解剖②生機調
②薬療②口生④内科

②生機調②解剖②薬療
④内科

②生理②解剖④内科

②生理②解剖④高齢④内科

②解剖②生理④内科

②解剖②生理④内科

②解剖②微生物②生理④内科

②解剖

②微生物②菌薬療③薬実
③微実④薬剤④内科

⑤脳血管の構造と分布及び機能的特徴を説明できる。

⑥反射、半自動運動、随意運動の発現と調節の機序を説明できる。

⑦ニューロンとグリアの構造と機能を説明できる。

⑧神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明できる。

⑨シナプス伝達の機序と神経伝達物質を説明できる。

C-3-4)-(6) 感覚器系と感覚

①特殊感覚器の構造と特殊感覚を説明できる。

②体性感覚の受容器の構造と機能を説明できる。

③内臓感覚を概説できる。

④疼痛の種類、発生機序及び制御機構を説明できる。

C-3-4)-(7) 消化器系

①消化管の基本構造、消化機能及び調節機構を説明できる。

②肝臓の構造と機能及び胆汁と胆道系を説明できる。

③膵臓(外分泌部と内分泌部)の構造と機能を説明できる。

C-3-4)-(8) 呼吸器系

①気道系の構造と機能を説明できる。

②肺の構造・機能と呼吸運動を説明できる。

C-3-4)-(9) 内分泌系とホメオスタシス

①内分泌器官・組織の構造と機能及びホルモンの種類、作用と異常を説明できる。

②恒常性維持と内分泌系・神経系の機能相関を説明できる。

③体温の調節機序を説明できる。

④摂食調節の機序を説明できる。

C-3-4)-(10) 泌尿器系と体液・電解質調節

①腎臓、尿管、膀胱及び尿道の構造と機能を説明できる。

②体液の量と組成及び浸透圧の調節機構を説明できる。

③水代謝と主な電解質の出納とその異常を説明できる。

C-3-4)-(11) 生殖器系

①男性生殖器と女性生殖器の構造と機能を説明できる。

C-4 感染と免疫

C-4-1) 感染

ねらい:

微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態を理解する。

学修目標:

①細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。

②微生③微実④内科

②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。

②病理②微生③微実③口病
④内科

③感染症の種類、予防、診断及び治療を説明できる。

②微生②菌薬療③菌内
③微実④内科

④滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。

②微生②薬療②菌薬療
③薬実③微実④薬剤④内科

⑤化学療法の目的と原理及び化学療法薬の作用機序並びに薬剤耐性機序を説明できる。

C-4-2) 免疫

ねらい:

生体防御機構としての免疫反応、感染免疫、アレルギー、主な免疫不全症・自己免疫疾患を理解する。

学修目標:

②病理③生防御③微実④内科

①自然免疫の種類と機能を説明できる。

②病理③生防御③微実④内科

②獲得免疫の種類と機構を説明できる。

②病理③生防御③微実④内科

③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。

②病理③生防御④内科

④抗原提示機能と免疫寛容を説明できる。

②病理②菌薬療③口病③生防御
④口外診④内科

⑤アレルギー疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。

②病理③口病③生防御④口外診
④内科

⑥免疫不全症・自己免疫疾患の種類、発症機序及び病態を説明できる。

③生防御③微実④内科

⑦粘膜免疫を説明できる。

②薬療②菌薬療③生防御④内科

⑧ワクチンの意義と種類、特徴及び副反応を説明できる。

C-5 病因と病態

C-5-1) 病因論と先天異常

ねらい:

病因論と先天異常を理解する。

学修目標:

②病理②口生④内科

①染色体、遺伝子及び発生の異常を説明できる。

②病理④内科

②環境と疾患の関係を説明できる。

C-5-2) 細胞傷害、組織傷害及び萎縮

ねらい:

細胞傷害、組織傷害及び萎縮の原因と形態的所見を理解する。

学修目標:

②病理④内科

①細胞傷害と組織傷害を説明できる。

②病理④内科

②変性と関連疾患の病態を説明できる。

②病理②口生④内科

③疾患における壊死とアポトーシスを説明できる。

②病理④内科

④萎縮と仮性肥大を説明できる。

C-5-3) 修復と再生

ねらい:

修復と再生の意義とこれらの形態的所見を理解する。

②病理③生防④内科

②病理④内科

②病理④内科

②病理③口病③生防④内科

②病理③生防④内科

学修目標:

①修復と再生の機序と幹細胞の役割を説明できる。

②肥大と過形成を説明できる。

③化生を説明できる。

④創傷治癒の過程と関与する細胞を説明できる。

⑤器質化を説明できる。

C-5-4) 循環障害

ねらい:

循環障害の成因、形態及びその転帰を理解する。

学修目標:

②病理②菌薬④内科

①虚血、充血及びびうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。

②病理②菌薬④内科

②出血の原因、種類及び転帰を説明できる。

②病理②菌薬④内科

③血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。

②病理②菌薬④内科

④梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。

②病理④内科

⑤浮腫の原因と転帰を説明できる。

②病理④内科

⑥ショックの成因と種類を説明できる。

C-5-5) 炎症

ねらい:

炎症の概念、発症機序及び形態的特徴を理解する。

学修目標:

②病理②薬療②菌薬②口生
③生防④内科

①炎症の定義と機序を説明できる。

②病理②薬療③生防③微実
④内科

②炎症に関与する細胞の種類と機能を説明できる。

②病理③生防④内科

③滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。

②病理③生防③微実
④内科

④肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的变化を説明できる。

C-5-6) 腫瘍

ねらい:

腫瘍の病因と病態を理解する。

学修目標:

②病理③口腫瘍④内科

①腫瘍の定義を説明できる。

②病理②口生③口腫瘍
④内科

②腫瘍の病因を説明できる。

②病理③口腫瘍④内科

③上皮異形成を説明できる。

②病理③口腫瘍④内科

④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。

②病理③口腫瘍④内科

⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。

②病理③口腫瘍④内科

⑥腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を説明できる。

<p>③生防御</p> <p>④内科</p>	<p>C-5-7) 個体の死</p> <p>ねらい:</p> <p>個体の死の病因と病態を理解する。</p> <p>学修目標:</p> <p>①死の概念と生物学的な死を説明できる。</p>
<p>②薬療②歯薬療③薬実 ④薬剤④内科</p> <p>②薬療③薬実④薬剤④内科</p> <p>②薬療④薬剤④内科</p>	<p>C-6 生体と薬物</p> <p>C-6-1) 薬物と医薬品</p> <p>ねらい:</p> <p>医薬品の分類並びに薬物(和漢薬を含む)と医薬品との関係を理解する。</p> <p>学修目標:</p> <p>①医薬品の分類を説明できる。</p> <p>②毒薬、劇薬及び麻薬等の表示と保管を説明できる。</p> <p>③日本薬局方を説明できる。</p>
<p>②薬療②歯薬療③薬実 ④薬剤④内科</p> <p>②薬療②歯薬療③薬実 ④薬剤④内科</p> <p>②薬療②歯薬療③薬実 ④薬剤④内科</p> <p>②薬療②歯薬療③薬実 ④薬剤④内科</p> <p>②薬療②歯薬療③薬実 ④薬剤④内科</p>	<p>C-6-2) 薬理作用</p> <p>ねらい:</p> <p>薬物(和漢薬を含む)の作用に関する基本的事項を理解する。</p> <p>学修目標:</p> <p>①薬理作用の基本形式と分類を説明できる。</p> <p>②薬物作用とその作用機序を説明できる。</p> <p>③薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。</p> <p>④薬物の連用の影響(耐性、蓄積及び薬物依存)を説明できる。</p> <p>⑤薬物の併用(協力作用、拮抗作用、相互作用)を説明できる。</p>
<p>②薬療②歯薬療③薬実 ④薬剤④内科</p> <p>②薬療②歯薬療③薬実 ④薬剤④内科</p>	<p>C-6-3) 薬物の適用と体内動態</p> <p>ねらい:</p> <p>適用された薬物(和漢薬を含む)の生体内運命を理解する。</p> <p>学修目標:</p> <p>①薬物の適用方法の種類と特徴を説明できる。</p> <p>②薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)について、加齢、病態による違いや薬物の相互作用による変化を含め、説明できる。</p>
<p>②病理②薬療②歯薬療 ③薬実④薬剤④内科</p> <p>②微生物②薬療②歯薬療③微生物 ③薬実④薬剤④内科</p>	<p>C-6-4) 薬物の副作用と有害作用</p> <p>ねらい:</p> <p>薬物(和漢薬を含む)の副作用、有害作用の種類とその予防対策に関する基本的事項を理解する。</p> <p>学修目標:</p> <p>①薬物の一般的副作用と有害作用を説明できる。</p> <p>②薬剤耐性(antimicrobial resistance <AMR>)に配慮した適切な抗菌薬使用を説明できる。</p>

D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)

D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途

ねらい:

歯科医療や歯科技工に用いられる材料(高分子材料、セラミック材料、金属材料、複合材料)と器械・器具の固有の性質、特性及び用途を理解する。

学修目標:

①物理①材料科②理工
③理工

①歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の所要性質と用途を説明できる。

①物理①歯入門①材料科
②理工③理工

②材料の物理的(力学的性質と熱的性質を含む)、化学的(溶解性を含む)、生物学的(生体活性、副作用を含む)性質とその評価法を説明できる。

①材料科②理工

③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。

D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法

ねらい:

歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法(成形・加工・熱処理を含む)を理解する。

学修目標:

①材料科②理工③保存

①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

①材料科②理工③理工③保存
③全部床④部分床④全実

②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

①材料科②理工③保存

③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

③理工

④歯科矯正用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

③理工④口外術④イ咬合

⑤インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

③理工③歯内

⑥歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。

E 臨床歯学

E-1 診療の基本

E-1-1) 診察の基本

ねらい:

口腔・顎顔面領域の診察、検査、診断を行うために必要な基本的な知識を身に付ける。

学修目標:

②病理③口腫瘍③口機診③小児歯
④口外診④臨診④管実

③口腫瘍③小児歯④口外診
④管実

③小児歯④口外診④臨診
④コミ

③小児歯④口外診④臨診
④コミ

③小児歯④コミ

②病理③小児歯③口腫瘍
④口外診④臨診④管実

②社歯入④医療管

②社歯入③口腫瘍④口外診
④医療管④コミ

②薬療④薬剤④コミ

④コミ④医療管

①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。

②診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。

③病歴聴取(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等)を説明できる。

④現症の取り方(視診、触診、打診、聴診等)を説明できる。

⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。

⑥診断に必要な検査を列挙できる。

⑦問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる。

⑧インフォームド・コンセントを説明できる。

⑨処方と処方箋の書き方を説明できる。

⑩技工指示書の書き方を説明できる。

E-1-2) 画像検査を用いた診断

ねらい:

放射線等を用いた診断の特徴と適応並びに画像の解釈を理解するとともに、放射線の人体に対する影響と放射線防護の方法をあわせて理解する。

学修目標:

①数学①歯入門①臨振基
②原子核③放射線④内科

②原子核③放射線
④内科④臨診

①数学②原子核
③放射線④内科④臨診

①臨振基②原子核
③放射線④臨診

①臨振基②原子核
③放射線④臨診

③放射線③④小児歯④臨診④
口外診

③放射線③④小児歯④臨診④
コミ

③放射線③④小児歯④臨診④
口外診

①臨振基②原子核③放射線
④臨診④口外診

①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。

②放射線の人体(胎児を含む)への影響の特徴(急性影響と晩発影響等)を説明できる。

③放射線防護の基準と方法を説明できる。

④エックス線画像の形成原理(画像不良の原因と含む)を説明できる。

⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。

⑥口内法エックス線撮影の種類と適応及びパノラマエックス線撮影の適応を説明できる。

⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。

⑧頭部エックス線撮影の種類及び適応を説明できる。

⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(Computed Tomography <CT>)、歯科用 コーンビーム CT、磁気共鳴撮像法(Magnetic Resonance Imaging <MRI>)及び核医学検査法の

原理と基本的特徴を説明できる。

E-1-3) 臨床検査

ねらい:

的確な診断を行うために必要な臨床検査の基本的知識を身に付ける。

学修目標:

②病理④内科④臨診査
②病理④内科④臨診査
②病理④内科④臨診査
②病理④内科④臨診査
②病理③口腫瘍③微小
④内科④臨診査

- ①臨床検査の目的と適応を説明できる。
- ②診断に必要な臨床検査項目を列挙できる。
- ③心電図検査及び動脈血酸素飽和度測定の目的と適応を列挙できる。
- ④各臓器における疾患に特有な検査項目を説明できる。
- ⑤臨床検査結果と疾患の関係を説明できる。

E-1-4) 歯科医療に必要な麻酔と全身管理

ねらい:

歯科医療における全身管理、局所麻酔法、精神鎮静法及び全身麻酔の基本を理解する。

学修目標:

E-1-4)-(1) 全身管理

④麻酔④高齢④内科④管実
④高齢④内科④管実
④高齢④内科④管実
④高齢④内科④管実
②歯薬療③薬実④薬剤④麻酔④
高齢
③小児歯④麻酔④高齢④管実

- ①バイタルサインの意義とそのモニタリングの方法を説明できる。
- ②血圧、脈拍数、呼吸数の測定方法と異常所見を説明できる。
- ③体温の測定方法を説明できる。
- ④意識状態の確認方法と異常所見を説明できる。
- ⑤患者の服用薬物の歯科治療への影響と歯科治療時の対応を説明できる。
- ⑥患者(小児、妊産婦、高齢者を含む)の全身状態の評価を説明できる。

E-1-4)-(2) 精神鎮静法

②歯薬療③薬実④薬剤④麻酔④
障害者
②歯薬療③薬実④薬剤④麻酔
②歯薬療③薬実④薬剤④麻酔
④麻酔

- ①精神鎮静法の特徴と目的及び種類を説明できる。
- ②吸入鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症を説明できる。
- ③静脈内鎮静法に使用する薬剤と適応、禁忌及び合併症を説明できる。
- ④精神鎮静法の周術期の管理を説明できる。

E-1-4)-(3) 局所麻酔法

②薬療④麻酔
②薬療④麻酔
②薬療④麻酔
④薬剤④麻酔
④麻酔

- ①局所麻酔の特徴と目的及び種類を説明できる。
- ②局所麻酔薬の分類と、その作用機序を説明できる。
- ③局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明できる。
- ④血管収縮薬の使用目的と種類、特徴及び臨床使用上の注意を説明できる。
- ⑤局所麻酔の実施法と合併症(偶発症)を説明できる。

E-1-4)-(4) 全身麻酔法

②歯薬療③薬実④麻酔
②歯薬療③薬実④麻酔
④麻酔④障害者

- ①全身麻酔の概念、種類並びに麻酔時の生体反応を説明できる。
- ②全身麻酔時に使用する薬物とその基本的な薬理作用及び使用機器・器具を説明できる。
- ③全身麻酔の適応と禁忌、合併症及び周術期管理を説明できる。

E-1-5) 小手術

ねらい:

小手術を適切に実施するために必要な基本的知識を身に付ける。

学修目標:

④小児歯④口外術④管実

④口外術④管実

④口外術④管実

④口外術④管実

④口外術④管実

④口外術④管実

③歯内④口外術④管実

③歯内④口外術

④口外術④管実

④口外診④口外術

①抜歯の適応症と禁忌症(相対的禁忌への対応及び小手術の適応症と禁忌を含む)を説明できる。

②小手術の合併症(偶発症)を説明できる。

③小手術に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。

④粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。

⑤縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。

⑥手指と術野の消毒法を説明できる。

⑦清潔と不潔の区別を説明できる。

⑧器具の滅菌、消毒法を説明できる。

⑨埋伏歯(智歯を含む)の抜去法を説明できる。

⑩周術期管理の目的と意義を説明できる。

E-1-6) 救急処置

ねらい:

救急処置の基本を身に付ける。

学修目標:

④口外診④麻酔④内科
④管実

①歯科治療時の全身合併症(偶発症)を説明できる。

④口外診④麻酔④内科
④管実

②一次救命処置(Basic Life Support <BLS>)を説明できる。

②歯薬療④薬剤④口外診
④麻酔④内科

③救急処置に用いられる薬物を列挙し、その作用機序と適応を説明できる。

E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患

E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能

ねらい:

頭頸部の基本的な構造と機能を理解する。

学修目標:

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| ②解剖②解実 | ①頭頸部の体表と内臓の区分と特徴を説明できる。 |
| ②解剖②口実 | ②頭蓋骨の構成と構造を説明できる。 |
| ②解剖②顎制御②口実
③口機診④臨診査 | ③咀嚼筋、表情筋及び前頭筋の構成と機能を説明できる。 |
| ②解剖②口実 | ④頭頸部の脈管系を説明できる。 |
| ②解剖②口実②生理 | ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 |
| ②顎制御③口機診④臨診査
④架義歯 | ⑥顎関節の構造と機能を説明できる。 |
| ②顎制御 | ⑦下顎の随意運動と反射を説明できる。 |
| ②顎制御③生習③口機診
④口外診④臨診査 | ⑧咀嚼の意義と制御機構を説明できる。 |
| ②顎制御③口機診④口外診
④臨診査 | ⑨嚥下の意義と制御機構を説明できる。 |
| ②顎制御 | ⑩嘔吐反射と絞扼反射を説明できる。 |
| ②顎制御③口機診 | ⑪咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。 |
| ②口組織 ③組実 | ⑫扁桃の構造、分布及び機能を説明できる。 |

E-2-2) 口腔領域の構造と機能

ねらい:

口腔及び隣接領域の基本的な構造と機能を理解する。

学修目標:

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| ②口組織②口実 | ①口腔の区分と構成要素を説明できる。 |
| ②口組織②口実②生理
③生習 | ②口唇と口腔粘膜の分類と特徴を説明できる。 |
| ②解剖②口実②口組織②顎制御③組
実③生習③口機診 | ③舌の構造と機能を説明できる。 |
| ②口解剖②顎制御③口機診
③小児歯④小児歯④臨診査 | ④歯列と咬合を説明できる。 |
| ③口機診④口外科④管実 | ⑤唾液の性状、構成成分及び機能を説明できる。 |
| ②唾液②生理③組実③口機診④口外
科④管実 | ⑥唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。 |
| ②口実 | ⑦上顎洞の構造、機能及び口腔との関係を説明できる。 |
| ②顎制御 | ⑧構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。 |
| ②生理④口外科④管実 | ⑨口腔・顎顔面領域の体性感覚の特徴と疼痛を説明できる。 |
| ②解剖②口組織②生理
④口外科④口外診④管実 | ⑩味覚器の構造と分布、味覚の受容と伝達機構を説明できる。 |

E-2-3) 口腔・顎顔面領域の発生と加齢変化

ねらい:

口腔・顎顔面領域の組織・器官の発生と加齢変化(成長・発育と老化)とその異常について理解する。

学修目標:

- | | |
|-----|---------------------|
| ③組実 | ①口腔・顎顔面領域の発生を説明できる。 |
|-----|---------------------|

③小児歯

②口腔・顎顔面領域の成長・発育を説明できる。

③口病④小児歯④障害者

③口腔・顎顔面の成長・発育異常及び不正咬合へ及ぼす影響を説明できる。

①包括ケ②病理③口病③全部床④高齢

④口腔・顎顔面領域の老化と歯の喪失に伴う変化を説明できる。

E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患

ねらい:

口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と病因及び診断・治療の基本的概念を理解する。

学修目標:

E-2-4)-(1) 先天異常及び後天異常

②病理③口病③放射線
③口外科④小児歯④障害者

①口腔・頭蓋・顎顔面に症状を示す先天異常を説明できる。

②病理③口病③放射線
③口外科④口外術④障害者

②口唇裂・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。

③放射線③口外科④口外術

③顎変形症の病態と治療法を説明できる。

③放射線③口外科④小児歯

④軟組織の異常を説明できる。

E-2-4)-(2) 外傷

②病理③口病③口外科
④小児歯

①外傷の種類、特徴及び治癒過程を説明できる。

③口外科④小児歯

②外傷の治療方針(治療の優先順位)を説明できる。

③口病③放射線③口外科
④小児歯

③歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。

③口病③放射線③口外科
④口外術

④顎顔面骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。

③口外科

⑤軟組織損傷の分類と症状及び処置法を説明できる。

E-2-4)-(3) 炎症

③口病③口外科④歯感染

①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。

②口生②病理③口病③口外科④歯感染

②急性炎症と慢性炎症の異同を説明できる。

②病理③口病③微笑③放射線③口外科
④歯感染④臨診査

③炎症の診断に必要な検査法を説明できる。

②病理③口病③口外科
④歯感染

④菌血症と歯性病巣感染の病態、症状、検査法及び治療法を説明できる。

③口外科④歯感染④薬剤
④口外術

⑤消炎療法の意義と特徴を説明できる。

③口病③口外科④歯感染
④薬剤

⑥主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等)の症状と治療法を説明できる。

②病理③口病③口外科
④歯感染

⑦口腔・顎顔面領域の肉芽腫性炎の種類と特徴を説明できる。

④歯感染

E-2-4)-(4) 口腔粘膜疾患

③口病③口腫瘍③口外科
④口外科④小児歯④歯感染

①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。

②病理③口病③口腫瘍③口外科④口外科
④小児歯④歯感染

②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする口腔粘膜疾患の症状及び治療を説明できる。

E-2-4)-(5) 嚢胞

③口病③口腫瘍③口外科
④小児歯

①口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。

③口病③口腫瘍③放射線
③口外科④口外術④小児歯

②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。

E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患

③口病③口腫瘍③口外科
④口外科④口外診

①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。

③口病③口腫瘍③放射線
③口外科④口外診④口外術

②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法(細胞診、組織診、画像診断)及び治療法を説明できる。

③口病③口腫瘍③放射線③口外科④口外科④口外診④口外術

③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法(細胞診、組織診、画像診断)及び治療法を説明できる。

③口病③口腫瘍③口外科
④口外科④口外診

②病理③口病③口腫瘍
③口外科④口外科

②病理③口病③口腫瘍
③口外科④口外科

③口病③口外科

②顎制御③口病③口機診③放射線③顎炎
③口外科④小児歯④口外術

③口病③口外科

③口病③口腫瘍③放射線③口外科④
口外科

③口病③口腫瘍③放射線③口外科④
口外科

③口病③口腫瘍③放射線③口外科④
口外科

③口外科

②微生物②病理③口病③放射線③口外
科

②唾液③口病③口腫瘍③放射線③口
外科④薬剤④口外科④臨診査

②生理③口外科④口外科④麻酔

③口外科④口外科④薬剤④麻酔

③口外科④口外科④麻酔

③口外科④口外科④麻酔

②病理③口病③口腫瘍③口外科④小
児歯④臨診査④内科

②病理③口病③口外科④歯感染④小
児歯④内科

②病理③口病③生体防④口外科④小
児歯④内科

②病理③口病③口腫瘍④内科

②病理③口病③口腫瘍③口外科④口
外科④小児歯④内科

②病理③口病③口腫瘍③放射線③口
外科④口外科④小児歯④内科

②病理②歯薬療③口病③口外科④薬
剤④口外科④内科

②病理③口病③口外科④口外科④小
児歯④内科

②病理③口病③口外科④口外科④小
児歯④内科

②病理③口病②微生物④口外診④内科

③口外科④口外科④内科

②顎制御③口機診④口外科

③放射線④口外科④口外診④高齢④
内科

④口外科④口外診④内科

④口外科④口外診④内科

④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。

⑤前癌病変の特徴、症状及び治療法を説明できる。

⑥前癌状態の種類と特徴を列挙できる。

E-2-4)-(7) 顎関節疾患

①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。

②顎関節疾患(発育異常、外傷、炎症、退行性顎関節疾患、顎関節症、顎関節強直症、腫瘍及び腫瘍類似疾患)の症状、診断法及び治療法を説明できる。

E-2-4)-(8) 唾液腺疾患

①唾液腺の発育異常を概説できる。

②唾石症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。

③唾液腺炎の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。

④唾液腺腫瘍の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。

⑤腫瘍類似疾患を概説できる。

⑥ウイルス性唾液腺炎の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。

⑦Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。

E-2-4)-(9) 神経性疾患

①口腔顔面痛を説明できる。

②三叉神経痛の原因、症状及び治療法を説明できる。

③顔面神経麻痺の原因、症状及び治療法を説明できる。

④三叉神経麻痺(感覚麻痺、運動麻痺)の原因、症状及び治療法を説明できる。

E-2-4)-(10) 口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患

①口腔・顎顔面領域に症状を現す血液疾患(貧血、出血性素因、白血病)とスクリーニング検査法を説明できる。

②口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類と症状を列挙できる。

③口腔・顎顔面領域に症状を現すアレルギー性疾患、膠原病、免疫不全の症状を列挙できる。

④口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患及びその症状を列挙できる。

⑤口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。

⑥口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断及び治療法を列挙できる。

⑦口腔・顎顔面領域に症状を現す薬物の副作用を列挙できる。

⑧口腔・顎顔面領域に症状を現す代謝障害とその症状を列挙できる。

2. 科目名称の前の数字は学年を示しており、前期はその学年の数字を()で、後期は

⑩ヒト免疫不全ウイルス(human immunodeficiency virus <HIV>)感染症と後天性免疫不全症候群(acquired immune deficiency syndrome <AIDS>)の口腔症状と検査法を説明できる。

⑪口腔・顎顔面領域の慢性的痛みの原因、症状及び治療法を説明できる。

E-2-4)-(11) 口腔・顎顔面領域の機能障害

①咬合異常による障害と咀嚼障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。

②摂食嚥下障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。

③言語障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。

④味覚障害の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。

③口病③放射線④口外診④臨診査④
内科

⑤口腔乾燥の原因、診察、検査、診断及び治療方針を説明できる。

③口外科④内科

⑥睡眠時無呼吸の原因、診察、検査、診断及び治療方針を概説できる。

E-3 歯と歯周組織の常態と疾患

E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能

ねらい:

歯と歯周組織の常態を理解する。

学修目標:

②口組織 ③組実③小児歯

①歯の発生、発育及び交換の過程と変化を説明できる。

②口解剖②口実③小児歯③保存

②歯種別の形態と特徴を説明できる。

②口解剖②口実④小児歯③保存

③遺伝的な歯の形成異常を説明できる。

②口生②口実②口組織
②生理③組実③小児歯③保存③歯内

④歯(乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む)の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。

②口解剖②口組織②生理 ③組実③歯内

⑤歯髄の構造と機能を説明できる。

②口組織②生理③組実③生習③歯周

⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。

E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因

ねらい:

歯と歯周組織に生じる疾患の概要を理解する。

学修目標:

③口病③保存③歯内④歯感染

①歯の硬組織疾患(tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の病因と病態を説明できる。

③口病③歯内④歯感染

②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。

②口生③口病③微実③歯周④歯感染

③歯周疾患の病因と病態を説明できる。

③口病③微実③保存③歯周④歯感染

④口腔細菌、歯垢及び歯石を説明できる。

②生理③歯内

⑤歯痛の機序を説明できる。

E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療

ねらい:

歯と歯周組織に生じる疾患の治療の進め方の基本を修得する。

学修目標:

E-3-3-(1) う蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療

③口病③放射線③保存④臨診査

①う蝕その他の歯の硬組織疾患(tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の症状、検査法、診断及び処置法(再石灰化療法を含む)を説明できる。

③架義歯③保存④架義歯

②Minimal Intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。

①材料科②理工③保存

③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。

①材料科②理工③保存

④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。

③保存③歯内

⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。

③保存

⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。

③理工③保存③歯内

⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。

③保存

⑧修復後の管理の目的と方法を説明できる。

E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療

③放射線③歯内④臨診査

①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。

③理工③歯内

②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。

③歯内

③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症(偶発症)について、種類、処置及び予防を説明できる。

③口病③歯内

④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。

③歯内

⑤外科的歯内療法(手術用実体顕微鏡の利用を含む)の種類と適応を説明できる。

③保存③歯内

⑥失活歯の変色の原因、種類及び処置を説明できる。

③歯内④小児歯

⑦歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を説明できる。

E-3-3)-(3) 歯周疾患の診断と治療

③歯周

①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる(疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む)。

③徹実③放射線③歯周④臨診査

②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針(メンテナンス法を含む)を説明できる。

③歯周

③歯周治療の術式と適応症を説明できる。

③歯周

④歯周外科手術の種類と適応症を説明できる。

③口病③歯周

⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。

E-3-4) 歯質と歯の欠損の診断と治療

ねらい:

歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部あるいは全部欠損に対する補綴治療の臨床的意義と方法を理解する。

学修目標:

E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療

③架義歯④架義歯

①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。

③架義歯④架義歯

②クラウンブリッジの種類、特徴及び製作法(CAD/CAM法を含む)を説明できる。

③架義歯④架義歯

③支台築造の意義、種類及び特徴を説明できる。

③架義歯④架義歯

④支台歯形成の意義と方法を説明できる。

②理工③架義歯④架義歯

⑤クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。

④架義歯

⑥色調選択(シェードテイキング)を説明できる。

③架義歯④架義歯

⑦プロビジョナルレストレーションの意義とその製作法を説明できる。

①材料科②理工④架義歯

⑧クラウンブリッジの製作に必要な材料の基本的操作を説明できる。

②理工③顎実③架義歯④架義歯

⑨研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。

④架義歯

⑩平均値咬合器及び調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。

②理工④架義歯

⑪クラウンブリッジの装着方法を説明できる。

④架義歯

⑫クラウンブリッジの維持管理の目的と方法を説明できる。

④架義歯

⑬クラウンブリッジ装着後のメンテナンスの重要性を説明できる。

E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯)

③全部床③部分床、③口機診

①歯の欠損、顎骨・顔面の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。

③全部床部分床

②可撤性義歯の種類、目的及び意義を説明できる。

③全部床③部分床④コミ

③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。

③全部床③部分床④コミ

④可撤性義歯の要素構成と支持、把持、維持の機構を説明できる。

③全部床③部分床④部実	⑤可撤性義歯の設計原則を説明できる。
②理工③全部床④部分床	⑥可撤性義歯製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。
③全部床③口機診③顎実④部分床	⑦歯の欠損した歯列での下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。
③全部床③口機診③顎実④部分床	⑧調節性咬合器の基本的操作方法、フェイスボウトランスファー、チェックバイト法を説明できる。
③全部床④部分床④全実④部実	⑨人工歯の選択を説明できる。
③全部床④部分床④全実④部実	⑩可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。
①材料科②理工③理工③全部床④部分床④全実④部実	⑪可撤性義歯の製作に必要な材料の特性と基本的操作方法を説明できる。
①材料科②理工③全部床④部分床④全実④部実	⑫可撤性義歯の製作過程を説明できる。
③全部床④部分床④全実④部実	⑬可撤性義歯の装着、調整を説明できる。
③全部床④部分床④全実④部実	⑭可撤性義歯のメンテナンス、リライン及び修理を説明できる。
E-3-4-(3) デンタルインプラント	
③架義歯④架義歯④イ咬合④イ実	①デンタルインプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる。
④イ咬合④イ実	②デンタルインプラントの適応症と合併症を説明できる。
③放射線④イ咬合④イ実	③デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明できる。
④イ咬合④イ実	④デンタルインプラントの治療計画、治療手順を説明できる。
④イ咬合④イ実	⑤埋入手術方法を説明できる。
②理工④イ咬合④イ実	⑥デンタルインプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。
④イ咬合④イ実	⑦デンタルインプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。
④イ咬合④イ実	⑧メンテナンスの重要性を説明できる。

E-4 矯正歯科・小児歯科治療

E-4-1) 不正咬合の治療

ねらい:

不正咬合に対する診断、治療の必要性和その意義を理解する。

学修目標:

- | | |
|--------------------|--|
| ③矯正④コミ⑤矯正実 | ①矯正治療の目的と意義を説明できる。 |
| ③矯正⑤矯正実 | ②正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。 |
| ③矯正③矯実④小児歯
⑤矯正実 | ③不正咬合の原因、種類、障害、診察、検査、診断、治療及び予防法を説明できる。 |
| ③矯正③矯実③理工⑤
矯正実 | ④矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。 |
| ③矯正③矯実④コミ⑤
矯正実 | ⑤矯正装置の種類と特徴及び使用目的を説明できる。 |
| ③矯正⑤矯正実 | ⑥矯正治療によって起こる生体の反応を細胞あるいは分子生物学的に説明できる。 |
| ③矯正⑤矯正実 | ⑦矯正治療によって生じうる医原性障害を挙げ、その予防法と処置を説明できる。 |

E-4-2) 小児の歯科治療

ねらい:

小児の歯科治療の進め方の基本を理解する。

学修目標:

- | | |
|------------|---|
| ④小実 | 小児の歯科治療の進め方の基本を理解する。 |
| ③小児歯④小実 | ①乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴と予防法を説明できる。 |
| ③小児歯④小実 | ②乳歯と幼若永久歯のう蝕の診察、検査と診断を説明できる。 |
| ③小児歯④小実 | ③乳歯と幼若永久歯の歯冠修復の目的、種類、適応症、手順及び留意点を説明できる。 |
| ③歯内④小児歯 | ④乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の診察、検査と診断を説明できる。 |
| ③歯内④小児歯 | ⑤乳歯と根未完成永久歯の歯髄・根尖性歯周疾患の処置法の種類、適応症、手順、留意点及び予後を説明できる。 |
| ③小児歯 | ⑥小児に見られる歯周疾患の特徴と対応を説明できる。 |
| ③口病④小児歯④小実 | ⑦小児の歯の外傷・粘膜疾患の診察、検査、診断及び、処置法及び予後を説明できる。 |
| ④小児歯④小実 | ⑧咬合誘導の概念を説明できる。 |
| ④小児歯④小実④コミ | ⑨保険処置の目的、種類、適応症及び留意点並びに保険装置の設計について説明できる。 |
| ③小児歯 | ⑩小児患者の対応を説明できる。 |
| ③小児歯 | ⑪小児の虐待の徴候と対応を説明できる。 |
| ④小児歯 | ⑫口腔習癖が歯列・咬合に及ぼす影響を説明できる。 |

E-5 高齢者、障害者、精神・心身医学的疾患

E-5-1) 高齢者の歯科治療

ねらい:

高齢者の身体的、精神的及び心理的特徴と歯科治療上の留意点を理解する。

学修目標:

- | | |
|---------------|-------------------------------------|
| ①包括ケ④高齢④内科 | ①高齢者の生理的、心理的及び行動的特徴を説明できる。 |
| ②歯薬療④薬剤④高齢④内科 | ②高齢者に多く見られる疾患及び服用している薬物を説明できる。 |
| ④高齢④口外診 | ③口腔機能低下の検査と予防法(介護予防を含む)を説明できる。 |
| ④高齢 | ④高齢者における口腔健康管理の用具と処置を説明できる。 |
| ②病理④高齢 | ⑤高齢者の歯科治療時の全身管理を説明できる。 |
| ④高齢 | ⑥要介護高齢者(在宅要介護者を含む)の歯科治療時の注意点を説明できる。 |
| ①包括ケ④高齢 | ⑦在宅医療(訪問歯科診療を含む)を説明できる。 |
| ④口外科④口外診④高齢 | ⑧摂食嚥下障害の診察、検査及び診断を説明できる。 |
| ④高齢④口外診 | ⑨摂食嚥下リハビリテーションを説明できる。 |
| ④高齢④口外診 | ⑩栄養管理や食形態の調整を説明できる。 |
| ④高齢 | ⑪高齢者の虐待の徴候と対応を説明できる。 |

E-5-2) 障害者の歯科治療

ねらい:

障害者の身体的、精神的及び心理的特徴と歯科治療上の留意点を理解する。

学修目標:

- | | |
|----------|------------------------------------|
| ⑤小実 | ①障害者の身体的、精神的及び心理的特徴を説明できる。 |
| ④障害者⑤小実 | ②障害者の行動調整(行動管理)と歯科治療に必要な注意点を説明できる。 |
| ④障害者⑤小実 | ③障害者における歯科治療の特殊性を説明できる。 |
| ④障害者⑤小実 | ④障害者の口腔ケア及び口腔衛生指導を説明できる。 |
| ③小児歯④障害者 | ⑤発達期の摂食嚥下障害の診察、評価、診断を説明できる。 |
| ③小児歯④障害者 | ⑥発達期の摂食嚥下障害のリハビリテーションを説明できる。 |

E-5-3) 精神・心身医学的疾患

ねらい:

心と体は密接に関連していることを理解し、精神・心身医学的疾患の基本的知識を身に付ける。

学修目標:

- | | |
|----------|---------------------------------|
| ④口外科④心身医 | ①心身相関を説明できる。 |
| ④口外科④心身医 | ②口腔顔面領域に関連して現れる精神・心身医学的病態を説明できる |
| ④口外科④心身医 | ③心理テストの目的と意義を説明できる。 |
| ④口外科④心身医 | ④舌痛症を説明できる。 |
| ④口外科④心身医 | ⑤歯科治療恐怖症を説明できる。 |
| ④口外科④心身医 | ⑥心身医学的治療を説明できる。 |

E-6 医師と連携するために必要な医学的知識

ねらい:

患者の症候・病態が生じる原因と、それらを伴う代表的疾患を挙げ、患者情報をもとに疾患を推測できる。
また医師と連携するために必要な医学的知識を学修し、合併する疾患について必要な知識を検索し、
医科歯科連携の必要性和歯科医師の関わり方を説明できる。

学修目標:

②病理④薬剤④口外診④麻酔
(一部) ④内科

①全身的症候・病態を説明できる

④内科

発熱、全身倦怠感、体重減少・増加、ショック、意識障害、脱水、浮腫、けいれん、めまい、黄疸、呼吸困難、
チアノーゼ、頭痛、動悸、息切れ、胸痛、睡眠障害、嘔吐、下痢

②病理②歯薬療④薬剤④口外診
④小児歯④麻酔 (一部)

②医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明できる。

②歯薬療④薬剤④麻酔 (一部)

③妊産婦の歯科医療時の注意点を説明できる。

*代表的医科疾患・病態の例

②口生④内科④口外診

呼吸器系:呼吸不全、閉塞性肺疾患(気管支喘息を含む)、拘束性肺疾患、誤嚥性肺炎 循環器系:心不全、
心内膜炎、弁膜症、虚血性心疾患、不整脈、高血圧症、深部静脈血栓症 消化器系:消化性潰瘍、
急性・慢性肝炎、肝硬変 血液・造血器・リンパ系:貧血、出血傾向、白血病 内分泌系:糖尿病、甲状腺疾患、
骨粗鬆症 免疫・アレルギー:免疫不全、膠原病、アレルギー疾患

②生理④障害者④口外診

神経系:脳血管障害、Alzheimer 病、Parkinson 病、てんかん 皮膚系:皮膚ウイルス感染症(麻疹、手足口病を含む)
腎・尿路系:慢性腎臓病・急性腎障害 感染症:ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症 精神系:認知症、統合失
調症、不安障害、うつ病

②口生④障害者

小児:小児けいれん性疾患、先天性疾患、発達障害

F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習))

臨床実習では実際の患者と接し、コミュニケーションを構築し、インフォームド・コンセントを行うなどの態度が重要である。また、基本的な診察・臨床技能について自験を通して習得していくことが求められる。従って臨床実習に進む前、臨床実習中にも、臨床能力の知識だけでなく態度及び技能についてシミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習))を通して十分に訓練することが必要である。

ねらい:

口腔内の診察・記録及び歯科診療時の医療安全・感染対策について、知識・技能及び態度をシミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習))を通して修得する。

学修目標:

F-1-1) 口腔内の診察・記録

②口実④小実④周実
④コミ

①患者情報を収集、分析できる。

④小実④周実④コミ

②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。

④周実④コミ

③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。

④コミ

④主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective,objective,assessment,plan <SOAP>)で診療録を作成できる。

④周実④コミ

⑤インフォームド・コンセントを得ることができる。

④コミ

⑥患者に関する医療情報を他の機関から収集(対診)し、また提供することができる。

④周実④コミ

⑦口腔と医科疾患との関連について説明することができる。

F-1-2) 医療安全・感染対策

④管実④小実④周実
④内実⑤小実

①歯科用器具を安全に操作ができる。

④管実④小実④周実
④内実⑤小実

②清潔に配慮した操作ができる。

④管実④周実④内実
⑤小実

③医療安全対策を実践できる。

④管実④周実⑤小実

④標準予防策を実践できる。

④管実

⑤一次救命処置<BLS>ができる。

F-2 基本的診察法

ねらい:

良好な医師-患者関係を構築するために必要な医療面接、全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査について、知識・技能及び態度を、シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習))を通して修得する。

学修目標:

F-2-1) 医療面接

- | | |
|-----------|--|
| ④周実④コミ⑤小実 | ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 |
| ④周実④コミ | ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 |
| ④周実④コミ | ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 |
| ④周実④コミ | ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 |
| ④周実④コミ | ⑤患者の不安、不満や表情、行動の変化に適切に対応できる。 |
| ④周実④コミ | ⑥患者のプライバシーに配慮できる。 |
| ④周実④コミ | ⑦患者に診断結果と治療方針・治療計画(保険装置、矯正治療装置の使用に関することを含む)を説明できる。 |

F-2-2) 全身状態の把握及び歯科治療に必要な診察と検査

- | | |
|-----------|---|
| ④管実 | ①バイタルサイン(血圧・脈拍・呼吸・体温)を測定し、評価できる。 |
| ④管実 | ②意識状態を確認し、評価できる。 |
| ③顎実④管実 | ③頭頸部の状態の診察ができる(視診、触診、打診、聴診、温度診)。 |
| ④周実 | ④歯周組織検査(プラーク染め出し、歯の動揺度検査、歯周ポケット検査)が実施できる。 |
| ⑤放実 | ⑤口内法デンタルエックス線検査の必要性を患者に説明し、その撮影ができる。 |
| ④周実⑤放実 | ⑥その他の必要な画像検査の必要性を患者に説明し、撮影の指示ができる。 |
| ④内実 | ⑦電氣的根管長測定の必要性を患者に説明し、実施できる。 |
| ④内実 | ⑧根管内細菌培養検査の必要性を患者に説明し、実施できる。 |
| ④管実 | ⑨唾液分泌能検査の必要性を患者に説明し、実施できる。 |
| ④管実 | ⑩咀嚼機能検査の必要性を患者に説明し、実施できる。 |
| ④周実④小実⑤小実 | ⑪診察及び検査結果を正確に診療録に記載できる。 |
| ④管実④周実⑤小実 | ⑫口腔内状態を記録できる。 |

F-3 基本的臨床技能

ねらい:

歯科診療を实践するための基本的臨床手技をシミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習))を通して修得する。

学修目標:

F-3-1) 共通事項

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ④管実 | ①手洗いと滅菌手袋の装着ができる。 |
| ④周実④管実④小実
④内実⑤小実 | ②歯科治療に必要な器材の準備、片付けができる。 |
| ④復実④小実④内実
⑤小実 | ③ラバーダム防湿ができる。 |
| ④管実⑤小実 | ④局所麻酔(表面麻酔、浸潤麻酔)を実施できる。 |
| ③顎実 | ⑤概形印象採得が実施できる。 |
| ③顎実 | ⑥診断用模型が製作できる。 |

F-3-2) 歯科保健指導

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| ③保実④周実⑤小実 | ①口腔の健康度やリスクを評価し、対象者に説明できる。 |
| ③保実④周実⑤小実 | ②セルフケアを行えるように動機付けできる。 |
| ③保実④周実④小実
⑤小実 | ③適切な口腔衛生指導を実施できる |
| ②健康 | ④適切な食事指導(栄養指導)を実施できる。 |
| ④周実 | ⑤生活習慣に関して適切に指導できる。 |
| ④周実 | ⑥禁煙指導・支援による歯周疾患、口腔がん等の予防を実施できる。 |
| ②健康 | ⑦ライフステージに応じた食育について指導できる。 |

F-3-3) 歯と歯周組織の疾患の治療

- ④復実④小実 ①う蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。
- ④復実 ②象牙質知覚過敏症に対する処置(薬物塗布、象牙質被覆)を実施できる。
- ④復実④内実 ③歯髄・根尖性歯周疾患の簡単な治療(覆髄(間接、直接)、抜髄、感染根管治療)を実施できる。
- ④周実⑤小実 ④歯周疾患の予防的処置(ブラークコントロール指導)を実施できる。
- ④周実 ⑤歯周疾患の簡単な処置(スケーリング・ルートプレーニング)を実施できる。
- ④周実 ⑥暫間固定を実施できる。

F-3-4) 歯質と歯の欠損の治療

- ④全実④部実④架実 ①補綴治療に必要な診断情報の収集し、それにもとづく治療計画と装置の設計が実施できる。
- ④架実 ②メタルポストコア、レジンポストコア、ファイバーポストコアによる支台築造の基本操作を実施できる。
- ④架実 ③クラウンブリッジによる補綴治療の各基本的操作を実施できる。
- ④部実 ④可撤性義歯による補綴治療の前処置(レストシートの形成を含む)を実施できる。
- ④架実 ⑤プロビジョナルレストレーションの各基本的操作を実施できる。
- ④架実 ⑥精密印象採得(寒天・アルジネート連合印象、シリコーン印象)の各基本的操作を実施できる。
- ④部実④架実 ⑦作業用模型を作製し、サバイイングによる装置の設計が実施できる。
- ④架実 ⑧咬合採得と平均値咬合器装着の各基本的操作を実施できる。
- ③生習 ⑨咀嚼機能検査の基本的操作を実施できる。

F-3-5) 小手術・口腔粘膜疾患の治療

- ④管実④小実⑤小実 ①単純抜歯を実施できる。
- ④管実 ②基本的な切開・縫合・抜糸を実施できる。

F-3-6) 矯正歯科・小児歯科治療

- ④小実⑤小実 ①フッ化物の歯面塗布を実施できる。
- ④小実⑤小実 ②幼若永久歯の予防填塞を実施できる。
- ④小実⑤小実 ③小児のブラークコントロールを行うために、保護者への適切な口腔衛生指導を実施できる。
- ③矯正③矯実 ④模型及び頭部エックス線規格写真等より、分析、診断、治療計画を立案できる。

F-3-7) 高齢者・障害者等患者への治療

- ③早臨床④高齢④コミ ①高齢者及びその介護者に対する基本的な対応ができる。
- ④障害者⑤小実 ②障害者及びその介護者に対する基本的な対応ができる。
- ③早臨床 ③在宅医療(訪問歯科診療を含む)時の介助ができる。
- ④管実 ④精神鎮静法の介助ができる。